

第1回 北アルプス広域連合一般廃棄物処理施設建設予定地選定会議 議事録  
(現地見学)

【日時】 平成24年10月22日(月) 13:10~15:05

【出席者】

広域連合長(大町市長)	牛越 徹	(議長)
広域副連合長(白馬村長)	太田 紘熙	
広域副連合長(小谷村長)	松本 久志	

(学識経験者)

信州大学名誉教授	土田 勝義
公害技術センター環境計画部主任研究員	杉本 淳
信州大学教育学部准教授	廣内 大助
日本環境衛生センター環境工学部技術審議役	速水 章一

(行政関係者)

大町市民生部参事	勝野 稔
白馬村環境課長	丸山 勇太郎
小谷村住民福祉課長	横澤 勲

(事務局)

広域連合所長	宮坂 佳宏
--------	-------

【議事の概要】

1 開 会

(事務局)

皆さん、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

私は、本日の進行をさせていただきます、北アルプス広域連合所長の宮坂佳宏と申します。よろしく願いいたします。

選定会議につきましては、設置要綱第4条の規定により、広域連合長が議長を務めることとされており、まずはじめに、議長である北アルプス広域連合長の牛越徹よりご挨拶申し上げます。

2 あいさつ

(議長)

広域連合長の牛越でございます。本日は広域連合の第1回一般廃棄物処理施設建設予定地選定会議ということで、お忙しい中、お集まりいただき感謝申し上げます。特に学識経験者としてご参加いた

だいた、土田先生、杉本先生、速水先生には大変ご多忙の中、ご参加いただきまして大変ありがとうございます。また、学識経験者の先生方には、ご専門のお立場から、地域の様々な課題解決にお取り組みいただいていることに心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、選定会議では、本日の第1回と、次回、第2回の現地見学では、大町市、白馬村、そして小谷村から推薦いただいた全6か所の候補地をご覧いただくだけでなく、地元の皆さまからお話を伺ってまいります。その後、経済性、インフラ整備などの視点、それから提案いただいています地域課題をどのように解決していくかということについても検討し、様々な絞り込みに必要な様々な情報を基に慎重に検討を進め、総合的な判断により、12月には最も適した建設予定地を選定したいと考えております。その過程で、学識経験者の皆さまからは、専門的な観点からの留意点や、考慮すべき事項などについてご助言をいただくことが数多くあると思いますので、どうぞご協力のほどお願い申し上げます。また、それぞれの候補地は、お忙しい中、各地区の皆さまが熱心なご協議を経て、地区の課題解決や振興策と併せて各市村を通じて推薦いただいたものでございます。推薦いただいた際に確認したところ、どの候補地も立地について問題がありませんでした。そのような6か所の中から、より圏域の皆さんが利用し易い、最適地を絞り込んでまいりたいと思いますので、それぞれの皆さんのご尽力、それからご指摘やご助言をお願いして、第1回の開催にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

### 3 学識経験者の紹介

(事務局)

本日は、第1回目でございますので、選定会議でご助言をいただきます学識経験者の皆様をご紹介します。

こちら側から、信州大学名誉教授の土田勝義様でございます。

一般財団法人日本環境衛生センターの速水章一様でございます。

長野県希少野生動植物保護監視員の杉本淳様でございます。

なお、もうひとりご助言をお願いしております、信州大学教育学部准教授の廣内大助様は、大学でのご講義の関係で、若干遅れて合流されることになっておりますのでよろしくお願い致します。

それでは、事務局から本日の日程等についてご説明をさせていただきます。

### 4 日程説明

(事務局)

北アルプス広域連合ごみ処理広域化推進係の西山孝と申します。

本日の日程ですが、広域連合に推薦いただいた6か所の候補地のうち、大町市内にあります4か所の現地見学を予定しております。最初に見学いただくのが、お手元の資料、A3版のカラーの地図にございます3番の中綱候補地。ちょうど目の前の国道を挟んだ反対側になります。その後、お手元の地図にあります、4番の新行候補地、5番の源汲候補地、6番の館之内候補地と4か所を順にご覧いただき、大北福社会館までご移動いただく予定です。なお、1番から6番までの候補地の番号は、北から順に付けてございます。4か所の現地調査後は、学識経験者の皆さんにはお帰りいただき、選定会議委員の3名には、その後、大北福社会館2階の大会議室にて、本日見学いただく大町市内4か所

の候補地について、地元住民の代表の方々と意見交換を行う予定です。

この意見交換につきましては、候補地受け入れに併せて提案いただいております地域振興策などについて直接ご意見を伺う予定としておりますことから、地元に対する配慮から非公開とさせていただきますので、ご理解いただくようお願い致します。

なお、移動の途中、非常に狭くて交差通行しかできないようなところもございますので、お集まりの報道関係の皆さまも含め、安全運転にくれぐれも留意して移動いただくようお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

## 5 現地見学

### ○ 中綱候補地にて

(事務局)

それでは大町市の勝野参事より説明をお願いします。

(大町市：勝野参事)

ご苦労様でございます。大町市の民生部参事兼生活環境課長の勝野でございます。中綱候補地につきましては、この場所から見ていただくのが一番良いかと思えます。真正面のススキの野原の部分、約1.1ヘクタールが候補地です。推薦の際には、周辺のなだらかな傾斜地についても必要であれば利用させていただけるというお話でした。前方の山から伸びる南側の尾根と北側の尾根に挟まれていて、国道148号と候補地の間に農具川とJR大糸線という状況でございます。それから、尾根のすぐ傍までJR大糸線の線路が迫っておりますので、アクセス道路の確保というのがこの場所での一番の課題になるのではないかと思います。概要の説明は以上ですが、正面の橋を渡っていただいて直接中に入ることができますので、ご覧いただければと思います。地元の皆さまからは、以前は田んぼとして使っていたけれども、今は遊休荒廃地になっていると伺っております。よろしくをお願いします。

(事務局)

それでは、車に気を付けて横断ください。

### [候補地内を移動しながら現地確認の後、新行候補地に移動]

### ○ 新行候補地にて

(事務局)

ここで信州大学教育学部准教授の廣内大助様に合流いただきましたので、ご紹介いたします。

(廣内氏)

信州大学の廣内です。よろしくをお願いいたします。

(議長)

お忙しいところありがとうございます。今日はよろしく申し上げます。

(大町市：勝野参事)

今歩いて来ていただいた林道から左手側が新行候補地になります。こちらの方に木が生えていますが、その先は昔田んぼだった荒廃地となっております。地元の皆さんのお話では、地図にありますように奥の林道から西側の林に敷地がかかっても構わないということです。正面に松林が見えますが、そ

の奥（北側）にもこのような道が入っておりまして、そこまで候補地となっています。全体で2ヘクタールを超える面積があります。

（小谷村長）

道の上に養魚場の後のようなものがありますが、今は魚を飼っていないのでしょうか。

（大町市：勝野参事）

確認してはおりませんが、水の張った池のようなものが3面ほどあります。その場所も候補地に含まれています。

（議長）

地図に載っている公営簡易水道の第3水源の場所はどこになりますか。

（大町市：勝野参事）

フェンスに覆われた場所がありますが、あの下になります。

### 〔候補地内を移動しながら現地確認の後、源汲候補地に移動〕

#### ○ 源汲候補地にて

（大町市：勝野参事）

県道からこちら側が建設予定地となります。この東側に鹿島川が流れておりまして、私のいる場所から約50m先に堤防があります。それから、北側、この奥に運動場があります。この運動場は、このまま生かして運営して欲しいとの要望をいただいていますので、ここが建設予定地となった場合、施設を建設する場所は運動場から南側ということになります。こちらの西側も約50m先まで森林となっておりまして、その先は圃場整備済みの田んぼになっています。帰りはこちら側の道路を通過して移動しますので、また様子をご覧ください。推薦いただいた場所のほとんどは源汲自治会の皆さんの共有地、それからこの地区の氏神さまの神社の所有地で、この部分については売買ではなく賃貸借で土地の有効利用を図っていただきたいという要望をいただいています。県道側の一部の土地については国土調査が行われておりますが、候補地のほとんどは国土調査が行われていないので、実測しないと正確な面積はわかりませんが、3町歩は十分にあります。

### 〔候補地内を移動しながら現地確認の後、館之内候補地に移動〕

#### ○ 館之内候補地にて

（大町市：勝野参事）

館之内の候補地になります。この正面の建物が市のどんぐり保育園です。左手側の建物は雇用促進住宅で、現在は市が引き取って活用しております。この隣はグラウンドになっておりまして、公園も整備されています。そのグラウンドと高瀬川の堤防の間に市の公共下水道の終末処理場があります。この市道から西側が昭和電工の大町事業所の土地になります。実際の候補地は、北から、あちらに見えますゴルフの練習場との間に農具川がありますが、その農具川のこちら側、あちらに見えます電柱の辺りまでと考えてください。南は保育園の北側の道路までとなっています。また、農具川と電柱の間に農業用の水路がありまして、その水路が境界となっております。約2.1万平方メートルの広さ

で、全て農地で耕作が行われています。

**[候補地内を移動しながら現地確認]**

(事務局)

この他、何かご質問、ご発言がなければ、ここで本日の現地調査は終了ということでよろしいでしょうか。

それでは、議長より一言お願いできますか。

(議長)

それでは、これもちまして本日の現地調査を終了したいと思います。どうもお疲れさまでした。

学識経験者の皆さまには、これでお帰りいただき、26日の第2回選定会議において、残り2か所の候補地をご覧いただくこととなります。日程調整の結果、大変タイトなスケジュールとなってしまう恐縮ですが、どうぞ、次回もよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

**[終了]**